

ブリ、カンパチ海面養殖の給餌自動化とスマート化の推進

事業目的：給餌自動化とスマート化によるブリ、カンパチ養殖の収益性アップや漁場負荷低減、そして省人数化、労働環境改善、CO₂排出量削減等の実現

実施機関：ファームチョイス（株）、渡辺水産（有）

実施場所：ファームチョイス（株）ブリ養殖場（熊本県天草市本渡、牛深）、渡辺水産（有）カンパチ養殖場（大分県佐伯市蒲江）

実施期間：令和4年1月1日～令和6年12月31日

アクアリンガル（Aqualingual）給餌システムとは？

- ・誘導給餌と自発摂餌を組み合わせたスマート化給餌システム
- ・魚の食欲変動をリアルタイムで検知し、自動的に給餌を制御
- ・各種環境データや、漁場・水中の画像を無線で送受信
- ・パソコンやスマホなどでデータを確認、給餌プログラムを操作



ブリ養殖

- ・システムが安定的に機能し**実用化レベル**に到達
- ・従来の給餌船給餌と**遜色ない成長や飼料効率**を実現
- ・**省人数化、労働管理柔軟性の向上、省エネルギー、CO₂排出量削減**効果を確認
- ・給餌船の装備に即した安全で確実な**飼料補給方法**を提供
- ・台風避難時の効率化を考慮した**設置・撤去方法**を確立
- ・ブリ養殖で世界初の給餌自動化・スマート化モデルファームを創出して**社会実装へのアピール効果**を発揮

カンパチ養殖

- ・モイストペレットから固形配合飼料への切り換えを確実に行うことで**効果的に機能**
- ・適水温期（7～11月）において従来飼育方法と**遜色ない成長速度や飼料効率**を実現
- ・2才魚においては従来よりも**魚粉配合率を削減した飼料の有効性**を実証